

# 「平和への道」上映 & 反戦 / 平和討論会

日韓



1968年2月12日韓国海兵隊（青龍部隊）によるフォンニイ・フォンニャット村虐殺事件  
住民の遺体を収容するアメリカ兵

2026年1月31日(土) PM2:00~4:30  
エルおおさか 研修室2

市民  
連帯

参加費: 1000円

ベトナム戦争での民間人虐殺は、アメリカ軍によるソンミ村事件が有名ですが、韓国軍によるおびただしい数の民間人虐殺があったことが、アメリカの報道機関によって同時期に明らかにされました。しかし、その真相が解明されずに時が経過。

ベトナムに派兵された韓国軍海兵隊第2旅団（青龍部隊）所属の軍人らが、1968年2月に、フォンニイ・フォンニャット村の住民70人余りを殺害したという事件について、当時8歳で被害生存者のグエン・ティ・タンさんが、2020年に韓国政府を相手に国家賠償訴訟を起こしました。この訴訟を支えたのが「韓・ベトナム平和財団」です。

「韓・ベトナム平和財団」は、グエン・ティ・タンさんの闘いを描いたベトナム人のドアンホンレ監督によるドキュメンタリー映画「平和への道」の上映を通して、韓国政府及び軍人による虐殺及び国家暴力に対する政府次元の認定と謝罪を要求する取り組みを行ってきました。

この度、「韓・ベトナム平和財団」並びに反戦平和市民団体「素朴な自由人」の皆さんから、大阪で反戦平和、日韓連帯の闘いを進めてきた団体と、「平和への道」をいっしょに観て、戦争犯罪の問題、ウクライナやガザで戦争の名のもとに、子どもたちをはじめとした多くの民間人が虐殺されている状況に対して、反戦・平和の闘いの重要性を共有したいとの申し入れに応え、今回の場を持つことにしました。

多くの皆さんの参加をお願いします。



写真上:  
キム・チャンソプさん  
写真下:  
クオン・ヒョヌさん



○ドキュメンタリー映画「平和への道」（上映時間 50 分）

●報告1 我々は何故大阪市民と連帯しようとするのか？

金 昌燮(キム・チャンソプ)さん「素朴な自由人 代表」

●報告2 加害者の立場から世界市民と出会う

権 鉉佑(クオン・ヒョヌ)さん「韓・ベトナム平和財団事務処長」

●報告3 大阪での反戦平和の闘いと今後の闘いに向けた課題と方向性

古橋 雅夫さん「関西共同行動 共同代表」

主催:「平和への道」上映&反戦・平和討論会実行委員会

実行委員会呼びかけ団体

(関西共同行動・ヨンデネット大阪・大阪韓国連帯情報交流会)

(連絡先) yondenetosaka@gmail.com